



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社
 コード番号 6737 URL <https://www.eizo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 恵比寿 正樹 TEL 076-275-4121
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	57,137	△10.3	2,701	△67.9	3,577	△60.9	3,898	△42.1
2022年3月期第3四半期	63,716	19.1	8,409	82.3	9,159	63.9	6,735	73.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 117百万円 (△98.7%) 2022年3月期第3四半期 8,848百万円 (△50.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	185.98	—
2022年3月期第3四半期	315.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	145,848	113,361	77.7	5,510.33
2022年3月期	155,459	118,582	76.3	5,562.01

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 113,361百万円 2022年3月期 118,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2023年3月期	—	60.00	—		
2023年3月期（予想）				65.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	△5.5	5,400	△52.2	6,200	△48.8	5,700	△26.9	273.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	21,981,160株	2022年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,408,606株	2022年3月期	1,411,088株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	20,959,685株	2022年3月期3Q	21,320,161株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日（2023年1月31日）開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな景気の持ち直しの動きが見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めに伴う景気下振れリスクの高まりなど、先行き不透明な状況となっております。

当社グループは、映像技術を核とした顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供する「Visual Technology Company」として、世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い映像製品の提供、システムソリューションの提案を行っております。

2022年度は、2023年度を最終年度とする第7次中期経営計画の達成に向けた重要なステップの年となります。強固な財務基盤を活かし研究開発・設備・人的資本への投資を引き続き積極的に実行し、事業成長を実現してまいります。また、「撮影、記録、配信、表示」から成るImaging Chainをシステム事業として展開するEVS (EIZO Visual Systems) を本格的に立ち上げ、事業領域を更に拡大し新たな価値を提供してまいります。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は57,137百万円（前年同期比10.3%減）と前年同期を下回りました。アミューズメント市場向けにおいて前期の新規則機への集中的な入替需要の反動減により売上高は前年同期を下回りました。一方、ヘルスケア・V&S (Vertical & Specific) は販売が好調に推移し前年同期を上回る売上高となりました。前期における一部材料の調達難による生産調整の実施や期末の需要増の対応により、当期は国内外の強い需要に対して製品供給が満たせていない状況からスタートしましたが、当社の100%自社開発・生産を活かした機動的な生産体制により、製品供給を進めることで販売増に繋がりました。加えて円安も売上高増加に寄与しました。

利益面については、材料費の上昇に対し販売価格への転嫁を進めてきたものの、アミューズメント市場向けの売上高の減少に加え、材料価格の上昇及びドル高によるコスト増の影響を受け、売上総利益は17,736百万円（前年同期比22.6%減）、売上総利益率は31.0%（同4.9ポイント低下）となりました。また、販売費及び一般管理費についてはwithコロナへの環境変化に伴い、広告宣伝活動を再開したこと等により15,034百万円（前年同期比3.6%増）となりました。その結果、営業利益は2,701百万円（同67.9%減）、経常利益は3,577百万円（同60.9%減）となりました。特別利益として投資有価証券売却益1,943百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,898百万円（同42.1%減）となりました。

市場別の売上高は次のとおりです。

[B&P (Business & Plus)]

売上高は、13,674百万円（前年同期比3.5%増）となりました。海外においては、売上高は前年同期を上回りました。特にドイツでの販売が堅調に推移してきましたが、当第3四半期に入りIT市場において設備投資の先送りも一部見受けられました。国内においては、売上高は前年同期を下回りました。流通段階での在庫調整の動きがあるものの、当第3四半期では高付加価値製品の販売が法人向け中心に伸張しました。

[ヘルスケア]

売上高は、23,968百万円（前年同期比13.3%増）となりました。海外においては、診断用途向けは、欧州向けの販売が堅調に推移したほか、北米は需要の回復が見られました。国内においても前期からの設備投資需要が継続しました。また、内視鏡用途向けは、欧米を中心に好調に推移しました。

[クリエイティブワーク]

売上高は、4,919百万円（前年同期比1.6%増）となりました。第2四半期から本格的に開始した新製品の販売が好調に推移し、第1四半期に十分な供給ができなかった影響を取り戻して、海外・国内ともに前年同期を上回りました。

[V&S (Vertical & Specific)]

売上高は、6,696百万円（前年同期比13.8%増）となりました。海外においては、EVSとして展開する監視用途のIPソリューションの導入が北米を中心に好調に進んだことや自動車産業向けの回復等により前年同期を上回る売上高となりました。国内においては、前第1四半期の顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売が一巡したものの、航空管制向け及び船舶向けの販売が伸張し、前年同期並みの売上高となりました。

[アミューズメント]

売上高は、4,255百万円（前年同期比72.6%減）となりました。前期は規則改正に伴う旧規則機から新規則機への入替需要がありましたが、当期は入替が完了したことによる反動減もあり、前年同期を下回りました。当業界を取り巻く市場環境は、規則改正後の遊技人口の減少と店舗数の減少等により業界全体の縮小が進んでおり、厳しい状況が継続しております。

[その他]

売上高は、3,622百万円（前年同期比16.8%増）となりました。アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したこと等によるものです。

(単位：百万円)

市場	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
B&P (Business & Plus)	13,214	20.7	13,674	23.9	460	3.5
ヘルスケア	21,148	33.2	23,968	42.0	2,819	13.3
クリエイティブワーク	4,841	7.6	4,919	8.6	78	1.6
V&S (Vertical & Specific)	5,884	9.2	6,696	11.7	811	13.8
アミューズメント	15,526	24.4	4,255	7.5	△11,271	△72.6
その他	3,100	4.9	3,622	6.3	521	16.8
合計	63,716	100.0	57,137	100.0	△6,579	△10.3

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は戦略的な在庫の積み増しにより棚卸資産が増加した一方で、主に売掛金の回収が進んだこと及び有価証券の減少により9,611百万円減少し145,848百万円、負債の部は4,390百万円減少し32,486百万円となりました。純資産の部は自社株式の取得等により5,221百万円減少し113,361百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月28日の「2023年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,887	9,658
受取手形、売掛金及び契約資産	23,035	16,365
電子記録債権	1,778	1,434
有価証券	8,799	299
商品及び製品	10,038	16,497
仕掛品	1,730	2,660
原材料及び貯蔵品	19,980	28,547
その他	1,362	1,926
貸倒引当金	△102	△94
流動資産合計	80,510	77,296
固定資産		
有形固定資産	20,173	20,982
無形固定資産	841	757
投資その他の資産		
投資有価証券	52,824	45,770
その他	1,108	1,040
投資その他の資産合計	53,933	46,811
固定資産合計	74,948	68,551
資産合計	155,459	145,848
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,522	7,546
短期借入金	2,050	2,175
未払法人税等	2,398	129
賞与引当金	1,696	1,020
製品保証引当金	2,177	2,167
その他	4,880	5,189
流動負債合計	20,726	18,227
固定負債		
長期借入金	1,025	954
役員退職慰労引当金	71	71
リサイクル費用引当金	634	590
退職給付に係る負債	3,014	2,960
その他	11,404	9,681
固定負債合計	16,150	14,259
負債合計	36,876	32,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	82,039	81,933
自己株式	△2,664	△3,998
株主資本合計	88,114	86,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,801	24,365
為替換算調整勘定	1,440	2,189
退職給付に係る調整累計額	226	131
その他の包括利益累計額合計	30,467	26,686
純資産合計	118,582	113,361
負債純資産合計	155,459	145,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)
売上高	63,716	57,137
売上原価	40,800	39,400
売上総利益	22,916	17,736
販売費及び一般管理費	14,506	15,034
営業利益	8,409	2,701
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	894	1,040
その他	80	154
営業外収益合計	981	1,205
営業外費用		
支払利息	16	28
為替差損	207	258
その他	7	42
営業外費用合計	231	329
経常利益	9,159	3,577
特別利益		
投資有価証券売却益	419	1,943
特別利益合計	419	1,943
特別損失		
投資有価証券売却損	—	5
特別損失合計	—	5
税金等調整前四半期純利益	9,578	5,515
法人税、住民税及び事業税	2,741	1,494
法人税等調整額	101	123
法人税等合計	2,843	1,617
四半期純利益	6,735	3,898
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,735	3,898

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	6,735	3,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,705	△4,436
為替換算調整勘定	440	749
退職給付に係る調整額	△33	△94
その他の包括利益合計	2,112	△3,781
四半期包括利益	8,848	117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,848	117
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大に伴う会計上の見積りについて)

COVID-19に関連する当社グループの将来の業績を見積もる前提につきましては、当第3四半期連結累計期間において重要な変更はありません。

なお、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りにつきましては、当第3四半期連結会計期間末時点で入手可能な情報に基づき実施しております。COVID-19の影響は2023年3月期の一定期間にわたるものと仮定し、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

3. 補足情報

(市場区分について)

区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途 (タッチモニター含む)
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発